

令和4年度 阿蘇米本学園学校評価 アンケート結果

梅花の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと、お喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、以前実施しました学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

【児童生徒アンケート】

	質問項目	肯定回答率
1	学校は楽しいですか	88%
2	学校の勉強はわかりますか	87%
3	読書を自分から進んで行っていますか	76%
4	外国語や英語の授業に楽しく参加していますか	84%
5	授業・休み時間・部活動などで、元気に運動することはできていますか	90%
6	タブレットを使って、授業に楽しく参加していますか	94%
7	宿題など、家庭学習にしっかりと取り組んでいますか	87%
8	自分から進んで、気持ち良いあいさつができていますか	83%
9	清掃活動を、しっかりとできていますか	94%
10	学校のきまり、交通ルールなどを守っていますか	97%
11	困った時、先生に相談できていますか	66%
12	スマートフォンやSNSを正しく使っていますか	71%
13	他学年の人と楽しく活動することができていますか	80%
14	阿蘇米本学園になって、良かったことや新しくできたことはありますか	85%
15	(後期課程のみ) 部活動に意欲的に取り組むことができていますか	80%

【保護者アンケート】

	質問項目	肯定回答率
1	学校は、わかりやすい授業を行うための工夫をしている	88%
2	学校は、異学年での交流活動の充実を図ろうとしている	93%
3	学校は、外国語教育の充実を図ろうとしている	81%
4	学校は、ICT教育の推進を図ろうとしている	79%
5	学校は、学校行事や児童生徒会行事の充実に向けた取組を行っている	87%
6	学校は、義務教育9年間を見通した取組を行っている	80%
7	学校は、児童生徒の登下校の安全に配慮している	90%
8	学校は、発達段階に応じた、きめ細やかな生活指導に取り組んでいる	75%
9	学校は、全校の児童生徒が安心して学校生活を送れるように環境整備に努めている	94%
10	学校は、保護者からの相談等に親身になって対応している	90%
11	学校は、HPや家庭への緊急連絡メール、各種たよりなどで情報発信をきめ細かく行っている	96%
12	学校は、統合前の学校の伝統を引き継ぎ、また新しいものを作ろうと努力している。	81%
13	学校は、地域やPTAとの連携の推進を図っている。	75%

保護者の皆様と児童生徒から学習面・学校生活・基本的な生活習慣・交流活動などに関する設問に回答していただきました。どの項目も比較的肯定的な評価をいただきましたが、項目ごとに分析を行い、主な成果と課題、そして来年度の教育活動の方向性についてもまとめましたので、ご覧ください。

<児童生徒の回答より>

児童生徒の自己評価の高かった項目としましては、「勉強がわかる」があります。特に「タブレットを使った授業に楽しく参加」している児童生徒が94%となっており、本校のICT機器を活用した授業が浸透していることがわかります。また、「学校が楽しい」「授業・休み時間・部活動などで、元気に運動に取り組んでいる」と答えた児童生徒も90%弱となっています。統合で同級生が増えたことや、9学年を通した異学年での交流が主な要因と考えられます。また体育や部活動、朝運動に加え、昼休みに多くの児童生徒がグラウンドに出て身体を動かすようになったことも要因と考えられます。さらに、「清掃活動」に真剣に取り組んでいたり、「学校のきまりや交通ルール」を守ったりするなど、基本的な生活習慣を意識して行動できていると回答した児童生徒は95%弱となりました。

反対に自己評価があまり高くなかった項目は「読書への取組」で、24%の児童生徒が十分に取組めていないと回答しています。前期課程の通学支援バスが遅く到着することを含め、朝読書の開始時間に間に合っていないことが原因と考えられます。次年度の登校時間やバスの運行時間など、教育課程について見直しを行う予定です。また「スマートフォン・SNSを正しく使えていない」と回答した児童生徒も29%います。使い方がよくわからない児童生徒が含まれているものの、SNSでのトラブルは社会的な問題になっています。子どもたちの発達段階に応じた指導を継続してまいります。さらに、「困った時に先生に相談できていない」と回答した児童生徒は34%になっています。子どもたちが、そのように感じている原因について研究し、教育相談体制の見直しを図ってまいります。

<保護者の回答より>

保護者の皆様からは、「異学年の交流活動」について高い評価をいただきました。特に、運動会での交流は好評をいただいております。次年度も1～9年生までが同じ校舎で過ごしていることを最大限に生かした取組に挑戦してまいります。また「メール等の情報発信」や「登下校の安全指導」についても高い評価をいただきました。今後も児童生徒の安全・安心を第一に考えた安全指導、そして連絡メールやホームページなどの効果的な運用について努めてまいります。

比較的肯定的な意見が少なかった「ICT教育の推進」につきましては、授業での使用だけでなく、課題などの家庭学習や学級閉鎖時等におけるオンライン学習について、研究してまいります。また家庭での接続テストにつきましても、積極的に進めてまいります。さらにネットモラルに関する指導についても、保護者と協力しながら進めてまいります。

「発達段階に応じた、きめ細やかな生活指導」につきましては、乗り入れ授業等で学級担任以外の教員が指導することもあることから、教職員同士の情報共有をさらに強化するとともに、前・後期課程の指導方法についての研修を行ってまいります。さらに連絡帳や面談期間等を活用し、保護者の皆様と連携を図りながら、きめ細やかな生活指導に努めてまいります。

「地域・PTAとの連携」につきましては、統合前の各学校での取組や今年度の実践を参考にしながら、今の時代に即した、そして持続可能な形での連携を模索し、実践してまいります。

今年度は統合初年度ということもありましたが、皆様の御理解と御協力のおかげで、無事に今年度を終えようとしています。しかし、今回子どもたちや保護者の皆様からいただきました御意見や御要望を真摯に受け止めるとともに、今年度の実践・反省を生かし、次年度もさらに魅力ある学校づくりを目指してまいります。今後とも、保護者の皆様の御理解と御協力を、よろしくお願いいたします。